

## 大規模介護施設から空き家を活用した 集落内居住への移行とまちづくり

2021 年 7 月に世界遺産に登録された奄美大島。今後多くの観光客の増加が見込まれる奄美大島であるが、その一方で人家から離れて建設された大規模介護施設で高齢者は生活を強いられている。このような地域から離れ、閉じた世界で行われている介護を空き家を活用しながら地域の中で展開し、新たな居住と支援と仕組みとまちづくりを提案する。

▼既存の介護施設大和の園の様子



住み慣れた地域で暮らし続ける仕組みと空き家の活用、奄美の生活・島外からの介護人材・移住者の呼び込みなどを通して集落住民が主体となる新たな暮らしのための拠点を創出する。



## 敷地

### □01 計画敷地

計画地：鹿児島県大島郡大和村大棚

大和村は総面積 88.26 km<sup>2</sup>のうち約 89% が山林原野で占め、計画地は人口 239 人の**大棚集落**に位置する。集落にはおよそ 20 の空き家が点在する。

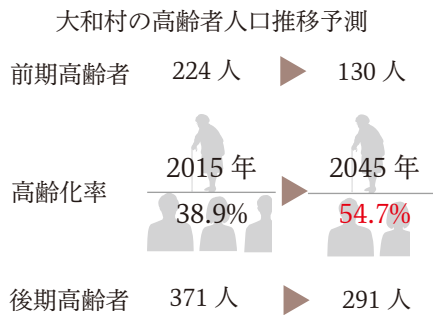


## 社会背景

### □01 進行する人口転出と高齢化

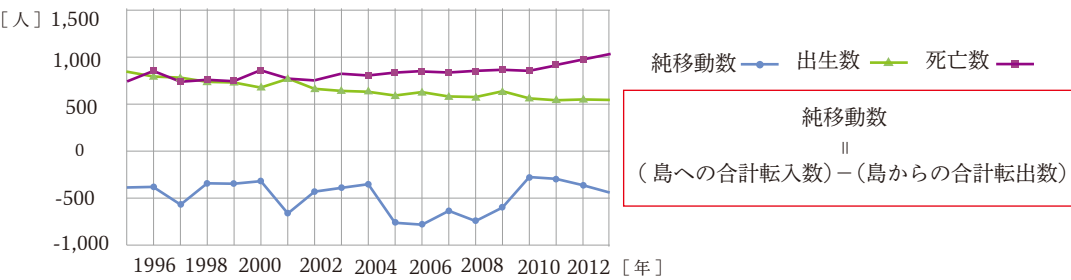
#### ①自然動態

大和村は 2002 年以降、毎年自然減（**死亡数＞出生数**）状態が続いており、年々その差も拡大傾向にある。さらに高齢化率は 2045 年には 54.7% になると予測され、若年層の負担が大きくなる。



#### ②社会動態

社会動態では一貫して社会減（**転出数＞転入数**）状態が連続しており、島全体の人口が減少している。下のグラフは大和村の人口転出入数の推移を表している。

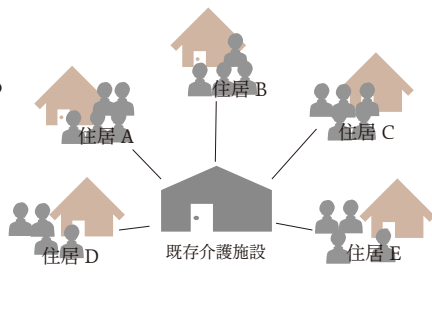


大幅な人口転出により**空き巣**の増加、**耕作放棄地**の拡大、**一次産業の人手不足**が顕著になる。さらに島外への人口流出が加速すると予測される。

## 提案

### □01 空き家を活用した新たなまちづくり

○大規模介護施設から集落へ  
既存の介護施設から少数の高齢者が居住できる住まいを計画し、各集落に分散配置していく。ヘルパーに付きっきりで介護される生活から、地域住民と共に自ら生活を営む環境をつくる。



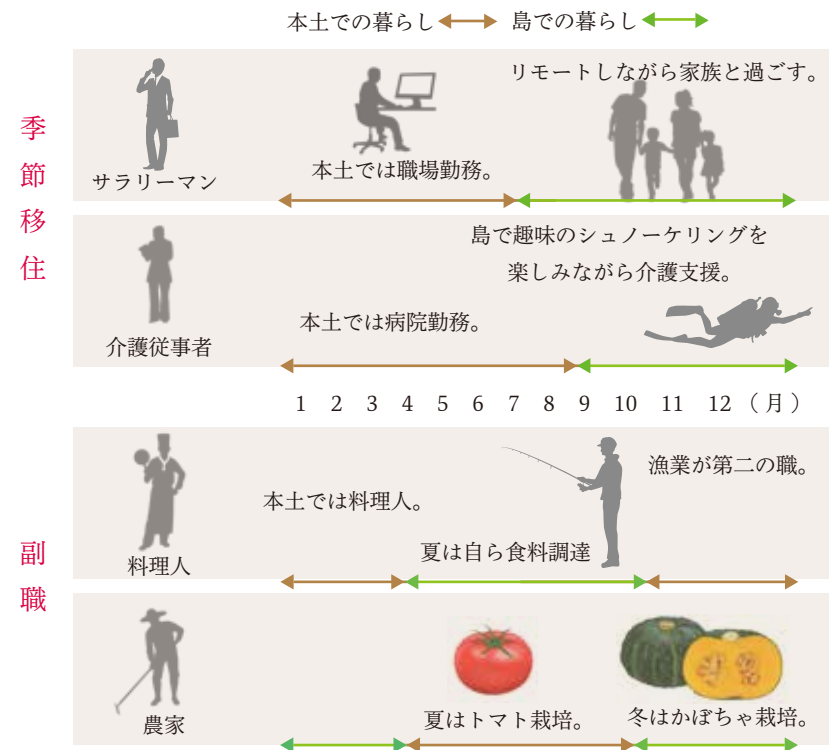
#### ○小規模多機能型居宅介護による高齢者支援

各集落に配置された拠点（小規模多機能型居宅介護）により在宅居住の高齢者等を支援する。大棚集落にある空き家を改修し、小規模多機能型居宅介護の形態を用い、通所・泊まり・訪問のサービスを連続的に提供する介護拠点をつくる。また集落内に点在する空き家は高齢者と地元住民が交流できる拠点を担っている。



### □02 新たな生活様式の探求

近年時期に合わせて住まいの拠点を变える**季節移住**、仕事を複数掛け持つ**副職**をする人が増えてきている。そのような移住者の活躍の場を集落に設け、**個々にあった生活様式**を見直すきっかけをつくる。

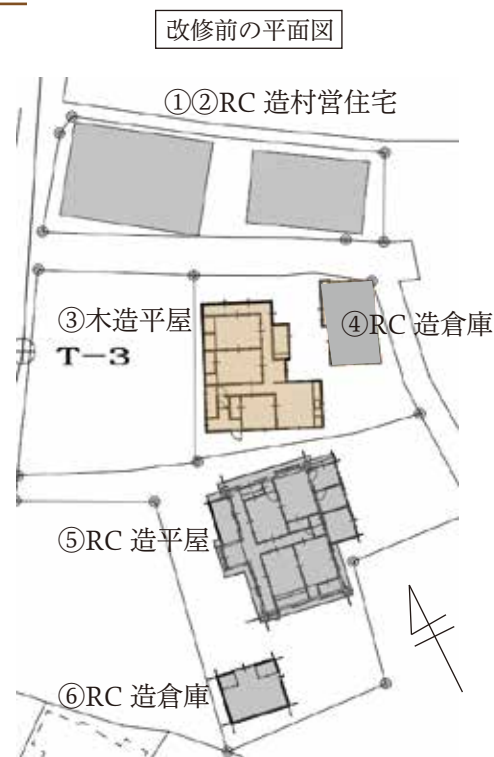




## 改修計画

### □01 既存の空き家を活用した新しい介護拠点

大棚集落の一角の既存空き家を活用し、介護が必要な高齢者のための小規模多機能型居宅介護の拠点をつくる。現在対象敷地には木造・RC造の建物が倉庫も含め計6棟ある。元ある形を残しながら、通所・泊まり・訪問のサービスを提供するための空間と、島外からの移住者の受け入れ体制を整える。敷地内の建物は改修と一部増築として計画する。



#### ▼①②RC 造村営住宅



#### ▼③木造平屋



#### ▼⑤RC 造平屋



北側2棟は移住者宿泊所と住宅型有料老人ホーム（RC改修）を設け、中央・南側2棟には通い・泊まり用の居室等を配置する（W改修＋増築）。高齢者や移住者の生活の場だけでなく、共用ダイニングや土間、子供たちの遊び場、奄美ならではの蘇鉄畑を敷地の中に取り込む。そうすることで日々の暮らしの中に世代間わない多彩な交流が生まれ

▼西側道路から見た中庭の様子

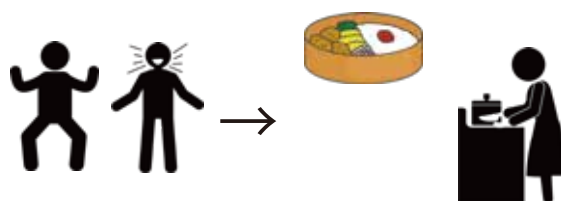


### □集落に点在する空き家活用例



現在、大和村大棚集落にはおよそ **20戸の空き家**が存在する。地域の空き家を改修活用し、集落全体で住民の生活を支える多様な機能と場を整備し、空き家のネットワークが集落の生活を支える仕組みをつくる。

#### ①高齢者が活躍する拠点



現地調査をした際、住民の中で退職した今でも元気で、料理を振舞ったり、ものを作ったりされている方がいる。そこをうまく活用するべく、高齢者同士の交流や、県外からの来客にも振る舞えるような場所を設ける。

#### 手作り料理を披露



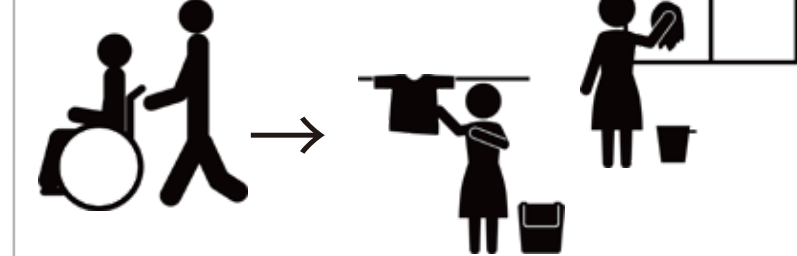
#### 共同で草刈り



#### 洗濯のお手伝いサービス

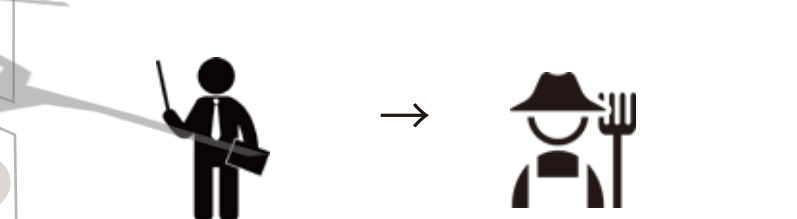


#### ②高齢者のサポート拠点



ここでは、ビジネス拠点と似ているが、高齢者の一人暮らしや、一人ではできないことのサポートを地元住民と共同で支え合うシステムである。例えば、洗濯など動くのが大変なものを代行で行う場所を提供する。

#### ③県外の人活躍できる場・ビジネス拠点



県外の人々が在住する際、ビジネスの拠点を鹿児島島の空き家によって、地元で馴染みやすくし、地元の方との交流を深める。また、農業や染物体験など、地元ならではの体験を空き家を使ってすることで、実際の生活感を楽しめる。

#### 子供たちと昔遊び



#### 村の人へお弁当を作る



#### 鹿児島島の農業を体験！

